

「化学品管理のための QSAR/*in silico* セミナー」を開催しました。

日化協では、2017年1月30日(月)に、日化協会議室において、「化学品管理のための QSAR/*in silico* セミナー」を開催しました。このセミナーは、QSAR(定量的構造活性相関)をはじめとする *in silico* 評価(コンピュータによるシミュレーション技術及び既存の情報並びに暗黙知を活用するコンピュータによる毒性予測や計算化学を含む広範囲な評価手法)の化学業界での普及・活用を推進することを目的に定期的に開催しています。今回、70名の参加があり、関心の高さが伺われるとともに、活発な質疑応答が行われました。

今回は4つのテーマで講演がありました。

① QSAR 及びカテゴリーアプローチの概要

一般財団法人 化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所 林 多恵 氏

② OECD QSAR Toolbox の概要とその活用方法

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 青柳 智子 氏

③ OECD IATA ケーススタディプロジェクトの概要

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 山田 隆志 氏

④ Tox21 と計算毒性学～人工知能で挑む毒性予測～

明治薬科大学 臨床薬剤学研究室 准教授 植沢 芳広 氏

今後も、日化協では、QSAR / *in silico* の普及・活用に向けて、会員向けセミナー、国際動向の情報収集、行政関連の研究機関との勉強会・意見交換、規制への導入に向けた行政との意見交換、LRI(長期自主研究)での課題採択と研究推進等の活動を行っていきます。

